

第二回定例委員会報告

7月17日(土)午後7時から、第二回定例委員会を田無総合福祉センターで行いました。主な話題と内容は以下のとおりです。

学童めぐりの報告・・・35名の参加があり大盛況でした。詳しくは「連協ニュース第2号」をご覧ください。こどもまつりについて・・・第一回実行委員会で皆川さん(けやき学童)が委員長に就任しました。実行委員会の経過報告や最新情報は下記の通りです。

会長会の開催周知...開催結果の報告については下記の通りです。

児童館等のあり方検討会の公募の対応について...7月1日市報にて公募のあった委員に、連協及び連協OBから応募しました。委員になられた方々とは、連協としても連絡を取りながら活動していけるよう考えています。

夏休み期間の学童クラブ入会の申込状況...90名程度の申込がありました。最大で一学童10名までは受け入れるということで、今回は、希望した児童すべてが希望学童クラブに入所となりました。

各学童クラブからの報告・・・行事の報告や課題等が各学童から出されました。けやき小では施設開放が9月1日から有料となり、共催行事は児童課が使用するということが問題は少なそうですが、土曜日保育時の使用について不安が残っています。また、けやき・東伏見・向台などで二つの学童に児童課が勝手に振り分けしていることについても、保護者の選択の自由度を高められないかという方向で意見交換がされました。その他、父母会や保護者会の参加率を高めるためのアイデアを求める声や、やや指導が行き過ぎている指導員によって学童ぎらいの子が出ていることなどが話されました。前回の定例会で問題となった、下保谷児童館の夜間開館に伴う育成室の扱いについては、鍵をかけるということで話し合いがまとまったと報告がありました。ただ、子どもの数に対して学童クラブのスペースが狭いことなどもあるので、市に要望書を提出する予定とのことでした。

その他、市長懇談会については、10月末から11月頃に予定。会長会で要望を集約していく予定です。

第一回会長会報告

8月28日(土)田無庁舎202.203会議室で第一回会長会を行いました。当日は夏休み最後の土曜日でしたが、22学童クラブ父母会から20名の会長の参加がありました。

連協会長から学童めぐりの報告や今年度の連協の取り組みについて説明後、各会長から自己紹介と各学童クラブの要望や質問を発表してもらいました。

- ・休校日の開所時間を8時からにしてほしい。
- ・共催行事の回数の制限をなくしてほしい。
- ・増設の工事の説明や連絡がぎりぎりだった。
- ・学区内に大型マンションが建設され急に入所者数が増え、ロッカーが一人に一つ確保されていない。
- ・学区内に大型マンションが建築中で、完成後は今以上に定員超過すると予想されるので心配している。まだ完成までには時間があるが、この対応についての要望は、父母会で個別に出した方が良いかアドバイスをもらいたい。
- ・指導員の雇用条件を良くし、指導員には継続して長く勤めてもらいたい。
- ・第一、第二とある学童クラブでは、振り分けの基準が明確になっていない。振り分けする時には、家庭の希望も聞き入れてほしい。
- ・民間委託やあそびの学校の話聞くが、放課後対策についてよくわからないので具体的に知りたい。
- ・育成料を口座引き落としにしてもらいたい。

などの意見がありました。

グループ懇談会でも活発に意見交換がされました。会議後の懇親会にも多くの会長が参加され、交流も図れたと思います。会長の皆さんお疲れさまでした。

学童こどもまつり実行委員会から

実行委員長 けやき学童クラブ 皆川

会場は本町小学校に決定！

11月3日（祭）本町小学校で行われるこどもまつりの進捗状況をご報告いたします。
これまでに3回の実行委員会を開催いたしました。

- ・各学童クラブの出店状況
- ・会場である本町小学校の協力体制
- ・本部・広報・設営・駐輪・警備・保健の各役割分担ごとの協議

等、順調に進行いたしております事をご報告いたします。
当日まで早くも2ヶ月弱となりました。今後は、

- ・本部・設営による本町小校庭の実踏
- ・飲食物提供学童の保健所への届出
- ・保谷消防署への起震車もしくははしご車の出動要請と挨拶
- ・広報による市報への掲載・告知ポスターの作成と張り出し

等を予定しており、より細かく打ち合わせを行っていくこととなります。

委員長として、一所懸命に勤めさせていただきますので、こどもまつりご担当、各学童の皆様方のご協力の程、よろしくお願い致します。

西東京市立児童館等あり方検討委員会経過報告

市民公募による委員を含めた「・・・児童館等あり方検討委員会」が7/30より計9回の予定で行われています。

この検討委員会では、先に発表された「西東京市子育て支援計画」の「児童館事業」、「学童クラブ事業」について協議しています。第2回（8/26）、第3回（9/21）は主に「児童館のあり方」について、第4回～第7回の4回「学童クラブ事業」について協議し、まとめに入ります。

「児童館事業」については、主に中高生を中心にした子どもの居場所をテーマに、児童館のあり方を協議しています。今年から、特化型児童館として中高生を対象に下保谷児童館と田無柳沢児童館にて夜間、休日の民間委託による開館がなされています。

「学童クラブ事業」については、事業のあり方、放課後のこどもの居場所、職員体制、などが協議される予定です。

運営の充実として、小学校3年生までは学童クラブ、4年生については「遊びの学校」への移行（選択可能との方針が出されています）が提言されており、特に注目される事でしょう

「遊びの学校」とは、

小学校の学校開放事業（校庭解放など）とあわせて、教室等も活用しながら、市民や地域ボランティアの協力と子どもたちの自主活動等によりプレイリーダー（遊びの指導員）を配置し、安心して集い、遊び、学べる環境を整える事業（いわゆる放課後の全児童対策の一環事業）

「育成料」をテーマに子ども福祉審議会が開かれます！

市長の諮問に応じ、児童福祉に関する事項について調査審議する「子ども福祉審議会」において、適正な受益者負担の観点から育成料の見直しについて審議がはじまります。審議会のなかから、見直しにあたっては「利用者の意見も聞く必要がある」という意見が出されたことから、専門委員二名を出すことになりました。

会議は二日間（9月28日・10月7日いずれも午後1時～3時）です。委員二名については、会長の中曽根と副会長の伊藤で対応しますが、この機会にみなさんの「育成料」に関するご意見などを下記までFAXにてお送りください。別項目で、西東京市における育成料等の豆知識を掲載していますのでご参照ください。

【中曽根】 0424-64-9714、【伊藤】 0424-67-9436（ともにFAXのみ）

育成料の豆知識

あなたの支払う育成料のこと、間食費について考えてみましょう。

今年度、育成料の改定協議が予定されています。主に育成料に含まれている間食費（おやつ）の分離化です。間食費は現在、保育料に含まれ提供されています。が、合併協議会において「受益者負担の原則から今後早急に見直すこと」が提言されています。では、育成料と間食費が別になるとどうなるのでしょうか？

育成料とは別に間食費を徴収となり、実質の値上げ（育成料 5000 円+間食費 1000 円）なののでしょうか？ それとも分離化による育成料の名目上の値下げ（育成料 4000 円+間食費 1000 円）なののでしょうか？また、第 2 子以降は、費用が半額となる制度はおやつ代には適用されるのか？

就学援助にて育成料は免除になっているが、間食費は・・・？と、協議がなされていないため解らない事が多いですが私たちには非常に身近な問題です。

そして何よりも現在の間食費で充実したおやつの提供が出来ているのか？が重要です。

おやつは児童の健全な成長に必要な栄養補給源です。したがって、保育に不可欠なものです

私たちは、補助食（おやつ）は児童の成長には不可欠な栄養補給源であることから、栄養価の高い、有意義な補助食（おやつ）が提供される事を望んでいます。

（松本事務局員）

育成料の経過

	田無	保谷
1997 年	育成料 0 円	育成料 0 円
1998 年	育成料 4000 円 学童保育の法制化により有料になる 間食（おやつ）は、父母会提供	育成料 0 円
1999 年	育成料 5000 円（間食費 1000 円含） 間食費 1000 円を育成料に含むとして 値上げ、一部学童でおやつ提供継続	1999 年 育成料 3000 円+間食費 1500 円
2000 年	育成料 5000 円 （間食費 826 円を市が負担）	育成料 4000 円+間食費 1500 円
合併協議会	負担の少ない方への統合で、育成料 5000 円、間食費は徴収せず ただし、合併協議会の答申では、間食費は受益者負担の原則から育成料と別に することが提言された	
2001 年以降	育成料 5000 円（内 間食費 1000 円）第 2 子以降は半額	

編集後記

児童館のあり方委員会が始まりました。育成料についても話し合いが予定されています。わたしたちもしっかりとした意見を持たなければいけない時が来たようです。皆様のご意見お待ちしております。（編集者）

発行：西東京市学童クラブ連絡協議会 会長 中曽根 聡

編集・印刷：溝端 伊藤 森 加々見 菊也 松本

西東京市学童クラブ連絡協議会ホームページ：<http://www.tonpo.net/gakudou/>

メールリストもあります！ 加入ご希望の方は、連絡定例会に出席される方を通じてお申し込みいただくか、メールにてお申し込みください。メールアドレス renkyo@tonpo.net